

議案第 19 号

令和6年度小松市奨学金貸与奨学生について

次のとおり議決を求める。

記

学校名	氏名
富山大学 工学部工学科	■
金城短期大学 幼児教育学科	■

小松市奨学金貸与審査委員会：令和6年5月27日（月） 午前10時00分

準要保護児童に対する就学援助費の支給額の改正について

国の要綱（要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱）改正に準じて、小松市要保護準要保護児童生徒就学援助費交付要綱に定める別表（第9条関係）中、新入学児童生徒学用品費（新入学児童生徒学用品費等準備費）を「54,060円」から「57,060円」に改正する。

寄附の受納について

様々な理由で生理用品の購入が困難な女子児童，生徒への支援のため次のとおり寄附がありました。

1. 寄附者 小松市校下女性協議会
2. 寄附物品 生理用品（20万円相当）
3. 受納日時 令和6年5月30日（木）15:30～
教育長室

令和5年度 教育相談の概況について（報告）

令和6年6月7日
教育委員会会議 資料
教育研究センター

1 教育相談の状況

① 取り扱い相談件数および相談のべ回数

相談件数	相談のべ回数				
	来所相談	電話相談	訪問相談	合計	
R5	457	1725	1834	1319	4878
R4	406	1967	2284	1314	5565

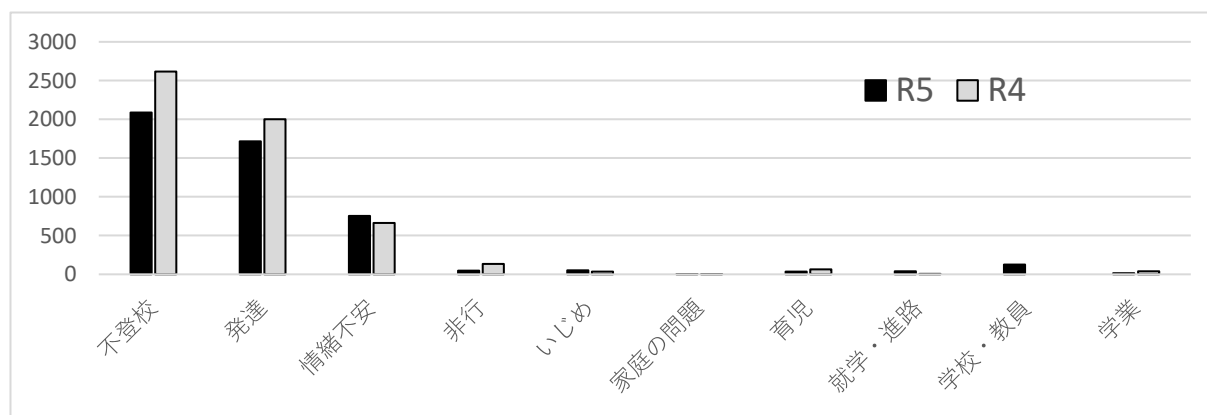
- ・相談件数は、相談を行った内容の数
同一の内容で、本人、母、教員に別々に相談を行っても1件とカウント。
- ・相談のべ回数は、実際に相談の対応をした実人数。
同一の内容で、本人1回、母2回、教員に2回相談を行った場合、5回とカウント。

② ①の相談のべ回数の内訳（相談者別）

	本人	保護者	教員	その他	合計
R5	618	2274	1796	190	4878
R4	872	2523	1847	323	5565

③ ②の相談のべ回数における相談主訴の内訳

	不登校	発達	情緒不安	非行	いじめ	家庭の問題	育児	就学・進路	学校・教員	学業	合計
R5	2087	1717	754	46	53	2	37	39	127	16	4878
R4	2615	2002	661	135	37	1	65	8	0	41	5565



R4もほぼ同様の傾向

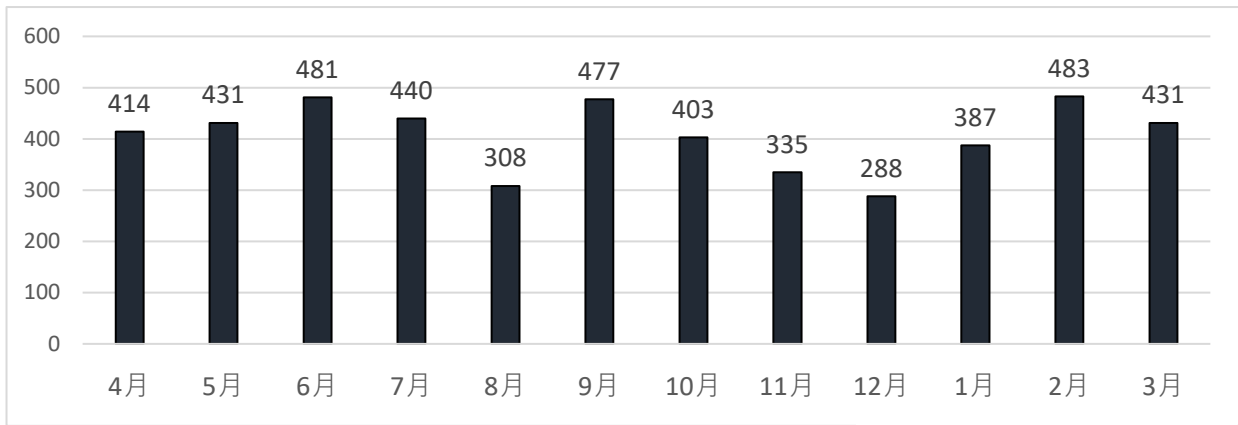
④ 小中別、主訴別の相談のべ回数の内訳

R5	不登校	発達	情緒不安	非行	いじめ	就学・進路	その他	合計
小学生	750	1368	471	20	33	10	142	2794
中学生	1317	349	279	26	20	29	40	2060
その他	20	0	4	0	0	0	0	24
計	2087	1717	754	46	53	39	182	4878

R4もほぼ同様の傾向

その他（家庭・育児・学校・学業）

⑤ 相談のべ回数の月別推移



R4もほぼ同様の傾向

2 ふれあい教室の状況

① 設置の目的

さまざまな要因で学校に登校できない児童生徒に通室を勧め、個々に応じた支援によって自立促進を図り、学びの場を保障することを目的に設置されている。

子供の社会的自立を最終目的とし、「居場所づくり」、「学習支援」、「登校支援」を柱に学校・家庭と連絡を取りながら支援を行う。

② 月別の通室状況 (全通室数 R5：小18,中34 R4：小18,中28)

R5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小	8	5	10	6	4	8	8	7	6	7	8	5
中	18	17	17	15	10	17	20	19	19	16	21	21
計	26	22	27	21	14	25	28	26	25	23	29	26

③ 1日の流れと1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金
8:40~10:00	ふれあいタイム※1				
10:00~10:30	掃 除 ・ 朝の会 (予定確認・連絡など)				
10:30~12:00 (午前の活動)	個別活動	調理実習 工作実習 等	個別活動	スポーツ グループ 活動等	個別活動
12:00~13:00	昼 食・休 憩				
13:00~15:30 (午後の活動)	ふれあいタイム 金曜日のみスポーツ活動を実施することがある				
15:30~16:30	フリータイム				

※1：学習や読書など個別での活動をしたり、通室生同士や職員とのゲームなど、グループでの活動をしたりする時間。どちらの活動を選択してもよい。



個別活動



ふれあい活動



スポーツ・グループ活動



実習・工作

④ 保護者等との連携

<保護者との面談>

子供の変化や新たな成長の確認を行い、適切な支援体制を整える機会としている。

<教育相談親の会>

講演会や懇談会を内容とした親の会を年間2回実施。専門家の話を聞くことや、保護者同士が悩み等を聞き合ったり共に考えたりすることで解決の糸口をつかむ機会となっている。

○第1回 7月28日(金)

講師 臨床心理士 浅田 伸史氏 「子どもが安心して過ごすために家庭でできること」

○第2回 12月15日(金)

講師 金沢大学准教授 原田 克巳氏「社会的な自立に向けた家庭での関わりについて」

3 訪問相談の状況

① 目的及び方法

目的 不登校の状態にある児童生徒が義務教育終了後にひきこもりの状態となることを防ぐために、外部機関が関わることをできるようにする。

方法 ①学校から家庭に案内をした上で、訪問相談員が家庭訪問を行う。
②不登校等継続実態調査をもとに、外部との関わりが少ない不登校の児童生徒を把握し、学校に連絡を入れる。学校が家庭に紹介した上で家庭訪問を行う。

②月別対応人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学生	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
中学生	4	5	6	2	7	7	5	7	5	7	7	7

寄附の受納について

本市の学校教育における情報教育充実のため、下記のとおり寄附がありました。

記

◆寄附者／小松ライオンズクラブ 会長 茗荷谷 豊 様

1. 受 納 日

令和6年5月15日（水）

2. 寄附の内容

ビデオキャプチャアダプタ 14台

3. 感謝状贈呈式

令和6年5月15日（水） 於 小松グランドホテル

ライブ配信やWeb会議を、より高画質な映像で。
ビデオカメラや一眼レフをWebカメラとして使える



HDMI

「GV-HUVC/S」は、HDMI出力映像を簡単にパソコンへ取り込むことができるキャプチャーデバイスです。
UVC（USB Video Class）に対応しており、本商品とHDMIケーブルで接続した一眼レフカメラやビデオカメラなどの機器は、Windows・Mac共に“カメラデバイス”として認識されますので、いろいろなHDMI映像をWebカメラのように扱うことができます。

一般的なWebカメラを使うよりマイク音声や映像が高品質であり、かつ自由な取り回しも可能ですので、ライブ配信やWeb会議において伝えたい映像をリアルタイムに発信する際に活躍します。

こまつ市民大学第7期事業計画について

はつらつとした生涯学習環境のさらなる充実を目指し、世代や立場、組織を超えて、地域で活躍する人材育成拠点(学びの場)として、こまつ市民大学第7期を開講する。

1. **実施主体** こまつ市民大学運営委員会（公立小松大学、小松商工会議所、小松市まちづくり市民財団、小松市社会福祉協議会、小松市で運営）

2. **開講期間** 令和6年9月～令和7年8月

3. **講座数** 24 講座(内、新規 10 講座)
新規講座（一部抜粋）

講座名	講師
SDGs を実現する技術（全4回）	公立小松大 酒井忍 教授 他
小松の石文化とマヤ文明遺産：研究最前線（全4回）	公立小松大 次世代考古学研究センター長 中村誠一 特別招聘教授 他
『源氏物語』の読み方、読まれ方（全4回）	公立小松大 西村聡 教授
話し方大学（全5回）	公立小松大 キャリアサポートセンター 松木礼子 専任講師 他
道の駅と観光（全4回）	公立小松大 中子富貴子 教授
老いて介護を受ける自分を想像できますか（全3回）	ウエルネスふらま 介護支援専門員
人生100年時代への扉！シニアライフセミナー（全4回）	NPO 法人小松空き家相談センター

4. **受講料等** 登録料：1,000 円
受講料：2,000 円～10,000 円

5. 開講までの日程

- 6月10日 こまつ市民大学運営委員会
- 6月下旬 受講生募集開始
パンフレットの設置、広報こまつ・HPへ募集案内掲載
- 7月31日 募集締切
- 8月上旬 受講決定通知発送
※定員に余裕のある講座は以降も随時募集
- 9月4日 第7期開講

寄附の受納について

本市の文化振興のために、下記のとおり寄附がありました。

記

- 1 寄附者 小松美術作家協会
- 2 受納日 令和6年6月7日（金）
- 3 寄附物件 現金 100,000円
（「こまつの美入札展」での収益の一部）
- 4 寄附目的 小松市立高校芸術コースの充実のため
- 5 感謝状 令和6年6月7日（金）市長室にて贈呈
出席者：小松美術作家協会 中田一於会長、寺西武久理事長